

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【君田会場】

テーマ

- (1) 生活交通としての路線・市民バスの必要性
- (2) 災害時, 命を守り, 安全に避難するための課題や問題

平成25年7月12日(金) 会場名 君田生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>① 福祉四団体では、今年度の補助金5%削減は自助努力という意味での働きかけとして理解はしているが、来年以降はどうなるのか。 5%の削減が続くのか、更にもう5%上乘せされるのか心配している。</p>	<p>5%の削減は、2年後に地方交付税の大幅な削減が待ち構えている中で、行財政改革には最大限取り組みますが、補助金等の面でもご協力をいただきたいということで行いました。 来年度に向けては、今年度の財政の状況を良く見極めて判断していきます。</p>
<p>② 給食調理の民間委託に際しては、金銭的な面だけでなく、食材や内容、その影響まで考慮に入れて検討してほしい。</p>	<p>(要望につき回答なし)</p>
<p>③ 給食調理の外部委託や、センター化等に当たっては、管理栄養士だけでなく、食と子どもの発達心理のことも考慮した体制を検討してほしい。庄原市では既に委託先が実践している。</p>	<p>外部委託は調理業務のみで、仕入れや検品、献立等はこれまで通り栄養士が担当します。食と子どもたちの成長については、栄養教諭や栄養士が子どもたちと触れ合う中で教えていくこととしています。 センター化については、まだ何も決まっておらず、ここで申し上げられるものではありません。</p>
<p>④ 三次市社会福祉協議会は、この度の補助金5%削減で職員を1人減らしている。君田では以前3人いた職員が2人になりながらも、様々な取組を行っている。行政を補完する重要な機関なので、これ以上後退することのないようにしてほしい。</p>	<p>福祉の分野については極力財源の確保に努めますが、同時に、ボランティア活動の充実や、自主財源の確保にも努力していただければと思います。</p>
<p>⑤ 君田小学校と君田中学校の西側に隣接する土地の樹木や竹が</p>	<p>土地の所有者との調整がうまくつかなかったためです。今後、調整がついた段階で、対応を検討します。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【君田会場】

テーマ

- (1) 生活交通としての路線・市民バスの必要性
- (2) 災害時, 命を守り, 安全に避難するための課題や問題

平成25年7月12日(金) 会場名 君田生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>繁茂して、校舎の腐食や落葉、倒木、日陰などで困っていると昨年訴えた。 早速、教育委員会の職員が見に行くと聞いたが、その後、何の連絡もない。どういうことで進んでいないのか教えてほしい。</p>	
<p>⑥ 櫃田地区の御所ヶ原から北は携帯電話が使えない。昨年度ソフトバンクが高い鉄塔を建てて神野瀬までエリアを広げると聞いて大喜びしたが立ち消えになっている。そのあたりの事情と今後の取組について伺いたい。</p>	<p>平成24年1月に、ソフトバンクから仕事を受けている熊谷組が、直接櫃田地域の皆さんに文書を配ったことが発端です。その後、その事業は中止されています。市では、熊谷組の担当者に掛け合い、加入可能者が記載された地図をソフトバンク社へ届けるよう依頼しています。引き続き要望活動を行います。</p>
<p>⑦ 君田支所の交差点から、小・中学校へ登る市道までの150mの間の一般県道木呂田本郷線には歩道が無く、通学路になっている中学生にとっては大型車が通ると危ない状況である。早急に検討していただきたい。</p>	<p>市の管轄の県道ですので、担当部署と支所及び教育委員会で現地調査をします。</p>
<p>⑧ 主要地方道三次高野線の宮の峽では、山水が道路に流れているところが2か所ある。冬期は凍結して大変危険で、バイクが転倒したのを目の当たりにした。早急に調査検討してほしい。</p>	<p>県が管轄していますので、県に強く要望します。</p>
<p>⑨ 補助金の5%削減に続いて、指定管理料の削減が心配である。ぜひ、現状維持でお願いしたい。</p>	<p>運営ができないようなことにすることはありません。 三次市は他団体に比べ大きな予算で住民自治活動を支援していますが、今後</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【君田会場】

テーマ

- (1) 生活交通としての路線・市民バスの必要性
- (2) 災害時, 命を守り, 安全に避難するための課題や問題

平成25年7月12日(金) 会場名 君田生涯学習センター

意見・要望	回 答
	については見直しを迫られる局面も想定されますので、市と住民自治組織の双方が財源確保の検討を進めていかなければならないと思います。
⑩ 自治区連合会で公園の指定管理を受けている。公園内の遊具の点検を大まかにはやっているが、万一の事故があった時の責任の所在はどこになるのか教えてほしい。	現場を見させていただいて、改めて協議させてください。
⑪ 西入君の子ども遊園地は特に夏場の利用が多く、遊具の増設を望む声が多く出ている。指定管理施設の遊具の整備はどうすればよいのか教えていただきたい。	現場を見させていただいて、改めて協議させてください。
⑫ 松江道の開通で泉吉田地区を通る路線バスが半減した。利用が無いのでやむを得ない部分もあるが、不便な思いをされている方もおられる。事業としてのバスと、生活手段としてのバスとの両立が図れるような手法はないか。	より詳細な実態調査や地域と支所、地域振興課での勉強会、バス事業者との協議などを通じて時間調整で対応できないか等の検討を行います。ただ便数を増やせばよいということにはならない状況です。皆さん方にもぜひ路線バスを利用させていただいて、存続に努めていただければと思います。
⑬ くるるんバスの利用状況と、中心市街地の循環だけでなく、旧町村に向けてのルート延伸の可能性を伺う。	1循環につき7人程度の利用があります。1循環で1時間程度の所要時間としています。利用者の利便性を考慮するとルートの延伸は困難です。
⑭ 君田町はダムを上流に抱えているので、放流による増水が心配である。万一の際、例えば一昼夜持ちこたえるための課題や	今までの国の防災計画では、3日間分の備蓄をするということになっています。新たな計画では、これを1週間にするということが言われていますが、費用もかかり、実際にはそのような孤立状況は考えにくいところです。具体的に

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【君田会場】

テーマ

- (1) 生活交通としての路線・市民バスの必要性
- (2) 災害時, 命を守り, 安全に避難するための課題や問題

平成25年7月12日(金) 会場名 君田生涯学習センター

意見・要望	回答
問題をどうするかが肝心なので, その点について市からの提案等があればお願いしたい。	は, 3日分程度の物をリュック等に詰めて, いつでも避難所や近所に逃げられる準備が肝心と思います。